

# 当別ブランド 知恵絞り発信

農産物加工、廃校舎活用…

## 官民6団体が連携

【当別】町内で活動するまちづくりグループなどが連携し「当別町田園文化創造協議会」を結成した。農産物加工品の開発や閉校した空き学校の活用など、地域資源を生かしながら、当別ブランドを町内外に発信したい考えだ。（郡義之）

協議会は、町役場や  
町農村都市交流研究会、当別亜麻生産組合など6団体が構成。これまででは、それぞれが独自にまちづくりに取り組んできたが「互いが結束し、町民みずからが動くことで、当別を活性化したい」（大塚利明・協議会会長）と、協力し合うことに

協成は、町役場や  
町農村都市交流研究会、当別亜麻生産組合など6団体が構成。これまででは、それぞれが独自にまちづくりに取り組んできたが「互いが結束し、町民みずからが動くことで、当別を活性化したい」（大塚利明・協議会会長）と、協力し合うことに

本格的に活動を始める。想定している事業は、今年三月に閉校した東裏小学校舎を使ったイベントの開催や、農業と食をテーマにした食育事業、町中心部の商店街と連携した農産加工品の開発、販売な

また、協議会は農林水産省に対して、地域振興のための補助金を申請。活動の原資を確保したい考えだ。大塚会長は「あくまで民主導で地域振興をしていくことが大事。新たな地域ブランドを生み出し、当別の知名度を上げたい」と意欲をみせている。

